

パブリック・コメント手続実施結果報告

番 号	23 - 7
案件名	第2次中野区地域情報化推進計画改定版
意見募集期間	令和5年12月20日 から 令和6年1月19日まで

1. 提出方法別意見提出者数

提出方法	人（団体）数
電子メール	0
ファクシミリ	0
郵 送	0
窓 口	1
合 計	1

2. 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方（同趣旨の意見は一括）

合計意見数	7 件
-------	-----

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	<p>デジタルデバインド解消の取組に障害福祉の視点を加えてほしい。</p> <p>区ホームページ上の読み上げ機能は、図や画像、緊急情報などには対応できていないため、それらについても対応できるよう改善したり、障害者でも利用できる機器やアプリ等を紹介するなど、障害者のデジタルデバインドの解消に向けた取組に期待する。</p>	<p>現状、区は、デジタルデバインドの解消に向けて、対象者が多く教室形式で画一的な普及啓発が可能な高齢者を中心に取り組んでいる。</p> <p>障害者のデジタルデバインドの解消については、それぞれの抱える困難に対して個別具体的な対応が求められるため、どのような取組が効果的か検討を続けている。障害者を対象としたデジタルデバインドの解消に向けて、他自治体の先進事例を研究するなど、引き続き情報を収集していく。</p> <p>また、区ホームページについては、図や画像の代替テキストの必須設定を徹底するとともに、誰もが利用しやすいホームページを目指し改善していく。</p>
2	<p>区ホームページや区の計画等について、障害福祉の視点で、障害のある方向けのユニバーサルデザインやアクセシビリティに配慮した情報の伝え方を考えてもらいたい。具体的には、視覚障害者向けに、視覚情報（図や表、色のコントラスト）をテキストファイル等で表現した資料の配布を希望する。</p>	<p>区は、平成31年3月に「中野区情報発信のユニバーサルデザインガイドライン」を定め、区の情報発信はこれに沿って行うものとしている。視覚障害者への配慮事項として、拡大文字版やWeb版、点字版と並んで音声版についても紹介しており、「表、写真、図等には説明を加える」としているところであり、職員に向けてはガイドラインに沿った情報発信について、一層の啓発に努めていく。</p>

3	区ホームページなどで区が発信する情報、特に、防災情報やGISの情報について、一元的に管理し、誤情報や古い情報が発信されないよう適切に更新するための仕組みづくりを検討してもらいたい。	今後も職員の広報マインドを醸成することで、情報発信力を向上させ、正確かつ最新の情報が公開されるよう努めていく。
4	緊急時の情報発信や情報伝達の方法について、デジタル情報を用いる方法及びその方法が利用できない場合の対応について示すことを検討してもらいたい。すでに対応手順が準備されているなら公開してもらいたい。	防災情報メールマガジン、防災行政無線、区ホームページ、各種SNS、エリアメール等による情報発信を行う。また、(株)ジェイコム東京杉並・中野局と協定を結び、防災情報を放送する体制を構築している。これらの方法が利用できない場合、チラシの掲示・配布、広報車による情報発信を行う。
5	区ホームページの最新情報について、件数が多いため、一定の期間にわたって実施する意見募集等のお知らせであっても次第にトップページから見えなくなってしまう、区民が意見する機会を逃すことになる。意見募集等の重要なお知らせは目立つよう優先的に知らせるなど、示し方を整理してもらいたい。	パブリックコメントやタウンミーティングの情報は、区ホームページのトップページにボタンを設けており、常にトップページから閲覧できるようにするとともに、募集中のものが一目でわかるようになっている。 区ホームページの最新情報は、時系列順で情報が表示されるものであり、日付が新しい情報からトップページで閲覧できる。真に必要な情報が掲載されるよう、統一的に運用していく。
6	統合型GISについて、区民の声投稿アプリ「なかのEYE」と連携して発災時の移動経路やライフライン復旧に関する情報共有に利用してはいかがか。	中野区公式LINEのトーク画面上で道路や公園の破損等に関する通報を可能とするサービスを、令和6年3月から開始し、これに伴って「なかのEYE」は運用を終了する予定である。 統合型GISを区民から寄せられた災害情報等を配信できるツールとして活用できるかについて、こうしたサービスとの連携を含めて検討していく。
7	まずは中野駅周辺の点字ブロックの情報を収集するなど、統合型GISの地図情報を充実させて、区民等が行動しやすい自治体を目指してほしい。	中野駅周辺等で優先的に情報を充実させることについては、区民等の利便性向上に資するだけでなく、多様な情報を重ね合わせることによる政策分析の可能性を探る目的からも意義があると考えられるため、今後、検討していきたい。

3. 提出された意見により変更した箇所とその理由 該当なし